

## 大学院生シンポジウム GS03

### 医療のさらなる安心・安全を志向する若手研究者のイノベティブチャレンジ

## The Innovative Challenge of Young Researchers Who Promote Further Safe and Reliable Medical Treatment

松林 健太<sup>1</sup>, 住吉 佑介<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九大院薬, <sup>2</sup>岡山大院医歯薬

---

今日の我が国においては、新薬の開発や医療技術の発達により治療可能な疾患が増加してきました。しかしながら、治療薬の副作用やライフスタイルの変化に伴う生活の質の悪化などの問題が顕在化している。こうした問題に対して、今までにない新たな手法・観点からなる研究が基礎・臨床共に必要不可欠である。本シンポジウムでは、これらの問題の解決による医療のさらなる安心・安全を目指した研究を行う学生7名を招集した。既存薬を用いた新規がん治療の提案や、抗がん剤による副作用の新しい発想に基づく制御、さらにはビッグデータを用いたドラッグリポジショニング研究まで多岐に渡る内容を網羅した。なかでも、今回は特になんがん医療に関するテーマを多く取り上げている。さまざまな視点から、がんというアンメットメディカルニーズに対するより深い議論ができることを確信している。また、ビッグデータの応用を目的とした臨床研究も含んでおり、今後の医療に大きく貢献できる内容になることを期待している。本シンポジウムが、今後の医療を担う若手研究者たちの意見交換の場となり、次世代の医薬品創薬・育薬および医薬品適正使用の発展に寄与し、より安心・安全な医療の提供という形で臨床現場および将来の薬学に対する貢献に繋がることを望む。